

お祖師さまを巡る人々

第11回



高祖日蓮大士ご降誕
800年慶讃

【池上兄弟】は、武蔵国池上（東京都大田区）に住んでいた武士の池上康光の息子たちで、兄の名前は「宗仲」、弟は「宗長」と言うんだよ。父の康光は熱心な念仏の信者で、「宗仲・宗長」の兄弟は、お祖師さまの教えを信じる御題目のご信者だったんだ。そこで、池上親子の間に、いろんな問題が起ってしまうんだね。今回は、「池上兄弟」が力を合わせてご信心に励むお話だよ。

池上兄弟①

【池上兄弟】の父・康光は、鎌倉幕府に仕え、建築（建物を建てる）や土木（道・橋・堤防をつくる）の仕事を管理（とりしきる）する武士だったんだ。そして、とても熱心に念仏の信心をしていたんだよ。

【池上兄弟】の母は、六老僧（お祖師さまが亡くなる時に指名された六人のお弟子）のうちの一人の日昭上人のお姉さんなんだよ。だから【池上兄弟】は、日昭上人の甥（自分の兄弟姉妹の息子）に当たるんだね。

【池上兄弟】は建長八年（一二五六）、四条金吾さんと同じ頃に、お祖師さまの教えを信じて御題目のご信者となったんだよ。（令和二年六月号の佛立新聞『お祖師さまをお訪ねする物語』を読んでね）

【池上兄弟】が、御題目のご信者になって二十二年がたったころ、父・康光が兄弟に「御題目のご信心をやめなさい」と強く言ってきたんだ。そして、兄の【宗仲】を勘当（親が子との縁を切ること）してしま



兄・宗仲は2度、父から勘当された。しかし、兄弟は力を合わせてご信心に励み、やがて、父を御題目のご信者にした

ったんだよ。

だから、兄の【宗仲】は、父の財産（お金や土地・家・物品など）や仕事、すべてを後で譲って（与えて・渡して）もらえなくなってしまうんだ。

弟の【宗長】は、父の言う通りに御題目のご信心をやめれば、兄の【宗仲】に代わって父の財産や仕事を受け継ぐ（もらえる）ことになったんだけど…。【宗長】は、父の言う通りにするか、ご信心を取るか、大ピンチに立たされたんだね。

お祖師さまは、【池上兄弟】と兄弟のお嫁さんたちにお手紙（兄弟抄）を書かれ、「二人の今のピンチは法華経のお経の中に説かれていることだから、驚くことなく、しっかりとご信心に励みなさい」と教えられたんだ。



「池上宗仲夫妻坐像」の説明の立て看板
この立て看板は、大坊本行寺の「ご臨終の間（お祖師さまが御入滅された場所）」の前に立てられている。看板の左上に「池上宗仲夫妻坐像」の写真が掲載されている

お祖師さまに教えられた通りに、池上兄弟とのお嫁さんたちは、心を合わせて御題目のご信心に励んだんだよ。すると、兄弟のご信心に対する思いの強さに負けて、父は仕方なく兄の勘当を取り消してくれたんだね。

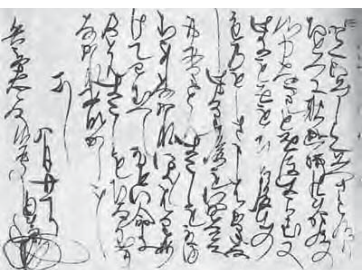
でも、父の帰依（僧侶などを信じその力にすがること）する念仏の僧・良観が『親の言いつけを守らないとは何と悪い息子だ』というので、また、父は、兄の【宗仲】を勘当してしまうんだよ。

お祖師さまは、すぐにお手紙（兵衛志殿御返事）を弟の【宗長】に出され、「父に正しいご信心をすすめるのは大変な親孝行です。でも、兄を捨てて弟が父のあとを継いでも、家が栄えたことはありませんよ。兄弟力を合わせて頑張りなさい」と激励されたんだ。

弘安元年（二七八）春、お祖師さまのもとに、兄の【宗仲】の勘当が許されたこと。そして、父・康光が御題目のご信者になったという嬉しい知らせが届いたんだよ。二度も勘当されながら、兄弟で力を合わせて父を御題目のご信者とした【池上兄弟】を、お祖師さまは「真実（ウソのない）の親孝行の子どもたち」ととても褒められたんだね。



兄弟抄（国宝・池上本門寺蔵）
お祖師さまが、池上宗仲と宗長、その女房たちに送られたお手紙。兄弟夫婦が力を合わせて法華信仰に励むことこそが、必ず、親への孝養になるのだと説かれた。その後、兄弟は父・康光を御題目の信心へと導いた



兵衛志殿御返事（京都・立本寺蔵）
池上兄弟の弟・宗長（兵衛志殿）に送られたお手紙。お祖師さまが兄弟に送られたお手紙は、圧倒的に弟・宗長に送られたものが多い。これは2度の勘当でも帰依し続けた兄・宗仲には絶対的な信頼を持って書いたこと。反対に弟・宗長の揺れ動く信心を如何に心配されていたかを伺い知ることができる